



▲両日とも天候に恵まれ、テントブースは多くの来場者でにぎわっていました

爽やかな秋晴れの下で 第19回 古河よかんまつり

11月3日・4日、古河公方公園で古河よかんまつりが開催されました。約8万人が来場し、地元企業や飲食店など多数の模擬店が出店され、アイス作りや本棚作り等の体験ブースには、行列ができていました。ステージイベントでは、この日のために頑張ってお練習を重ねてきた園児のパフォーマンスやダンス、ヒーローショー、和太鼓演奏等が行われ、来場者は秋の一日を堪能しました。



▲茨城県無形文化財に指定されている古河市三和郷土芸能保存会のおはやしは圧巻でした

地域の文化・芸能が集合 第5回 さんさんまつり

10月28日、三和健康ふれあいスポーツセンター前広場でさんさんまつりを開催しました。爽やかな秋晴れの中、笛や太鼓などのおはやしに併せて神輿4基・山車4基が威勢の良い掛け声とともに会場を練り歩きました。また、当日は約2万5,000人が来場。吹奏楽演奏や神楽などのステージイベントを見たり、事業所や地区コミュニティ団体の模擬店で買い物をしたりと思い思いに楽しみました。

土井家の縁を感じながら 古河市×福井県大野市 姉妹都市交流

9月22日、来年開催の国体視察に併せて針谷市長が姉妹都市である福井県大野市を訪問しました。樹齢100年以上のケヤキとスギの木の根元が一緒になって生える「良縁の樹」がある春日神社で開催された祭り「縁のあかり」のイルミネーション点灯式に石山大野市長と参加し、姉妹都市交流を図りました。



▲古河市と大野市の縁がより深まるように祈願しました

男が働かない、いいじゃないか！ 男女共同参画講座



▲男性が抱える問題について学ぶ参加者

11月11日、古河福祉の森会館で男女共同参画講座を開催しました。大正大学准教授の田中俊之氏を講師に迎え、男性学の視点から男性が働くのは当たり前という常識に切り込み、新しい男性の生き方について講演しました。参加者は「男も女も、仕事も家庭も」という提案に関心を寄せていました。

目指せ、生涯現役！ 貯筋あつぷ運動 シニア運動教室開催

11月7日、ユースセンター総和でシニア運動教室を開催しました。65歳以上で転倒等に不安のある人を対象に全11回開催しているもので、21人が参加しています。参加者からは「体が軽くなった」「外出が楽しみ」との声が聞こえ、さらなる体力アップを目指し楽しく体操をする姿が見られました。



▲手を広げ、ストレッチに取り組む参加者

丹精込めて育てた1,800鉢の菊花 第13回 古河菊まつり



▲色鮮やかな大菊は見応えがありました

10月27日～11月23日、ネーブルパークふれあい広場で古河菊まつりが開催されました。盆養、懸崖のほか、市民と市内幼稚園児が共同で制作した「筑波山」や、シンボルとなっている「五重塔」が来園者の目を楽しませました。期間中は、菊花会による菊の即売会も行われ、多くの来園者でにぎわいました。